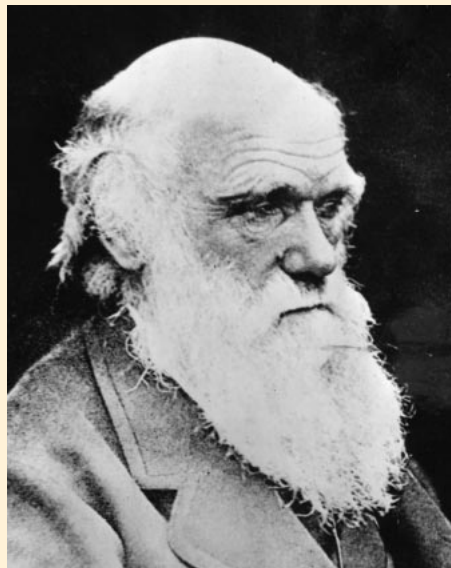


ダーウィン生誕200年記念 進化学プレ・シンポジウム2008



日時 ▶ 平成20年 **9月20日** [土] 13:00~17:00

会場 ▶ 東京大学農学部1号館2階 8番講義室

主催 ▶ 日本学術会議 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 進化・系統学分科会

共催 ▶ 日本進化学会

後援 ▶ 東京大学大学院農学生命科学研究科 国際生物学オリンピック日本委員会 (JBO)

2009年は、進化論を唱えたチャールズ・ダーウィン (Charles R. Darwin) の生誕200周年にあたります。また、自然選択による進化論を展開した『種の起源』(初版、1859年刊)の出版150周年にもあたります。そのため、2009年をダーウィン記念生物学の年と位置づけ、世界各国の博物館でダーウィン展が催されています。

日本学術会議進化・系統学分科会、ならびに日本進化学会では、生物学・進化学におけるダーウィンの業績を称えて、2009年のダーウィン記念生物学祭の広い周知と宣伝、そして進化生物学の教育と啓蒙のため、1年前の今年2008年9月に以下の要領で「ダーウィン生誕200年記念 進化学プレ・シンポジウム2008」を開催したいと考えております。

講演の第1部「進化学の教育と啓蒙」、第2部「進化学の最前線」、そしてパネルディスカッションの3部構成になっており、盛りだくさんです。万障お繰り合わせの上、ご参集下さい。

Program

司会：佐倉 統 (東京大学大学院情報学環教授、日本学術会議連携会員)

閉会の挨拶 (趣旨説明)：嶋田 正和 (東京大学大学院総合文化研究科教授、日本学術会議連携会員、日本学術会議進化・系統学分科会幹事)

I 講演 (13:05~15:55)

—第1部— 進化学の教育と啓蒙 (中等教育、社会を含めて)

- 1) 長谷川 眞理子 (総合研究大学院大学教授、日本学術会議連携会員、日本学術会議進化・系統学分科会副委員長)

ダーウィンとその時代

- 2) 渡辺 政隆 (サイエンス・ライター)

現代日本の進化論リテラシー

- 3) 中井 咲織 (立命館宇治高等学校教諭)

中等教育で進化をどう教えるか

—休憩—

—第2部— 進化学の最前線

- 1) 浅島 誠 (東京大学理事 (副学長)、日本学術会議副会長)

発生生物学からみた進化学への系譜

- 2) 五條堀 孝 (国立遺伝学研究所生命情報DBJ研究センター長・教授、日本学術会議連携会員、日本学術会議進化・系統学分科会委員)

ダーウィンを超えて—進化学革命の最前線 (中立説からゲノムまで)—

II パネルディスカッション (15:55~16:55)

司会：佐倉 統 (東京大学大学院情報学環教授、日本学術会議連携会員)

嶋田 正和 (東京大学大学院総合文化研究科教授、日本学術会議連携会員、日本学術会議進化・系統学分科会幹事)

閉会の挨拶：浅島 誠 (東京大学理事 (副学長)、日本学術会議副会長)



参加申込方法

以下のプレ・シンポジウムのサイトに入って、案内に従って申し込んでください

<http://www.darwin-200th.net/>

問合せ先：日本進化学会事務局・(株)クバプロ

E-mail:symposium@darwin-200th.net/ TEL:03-3238-1689 FAX:03-3238-1837

*定員 (220名) となり次第、締め切りとさせていただきます。